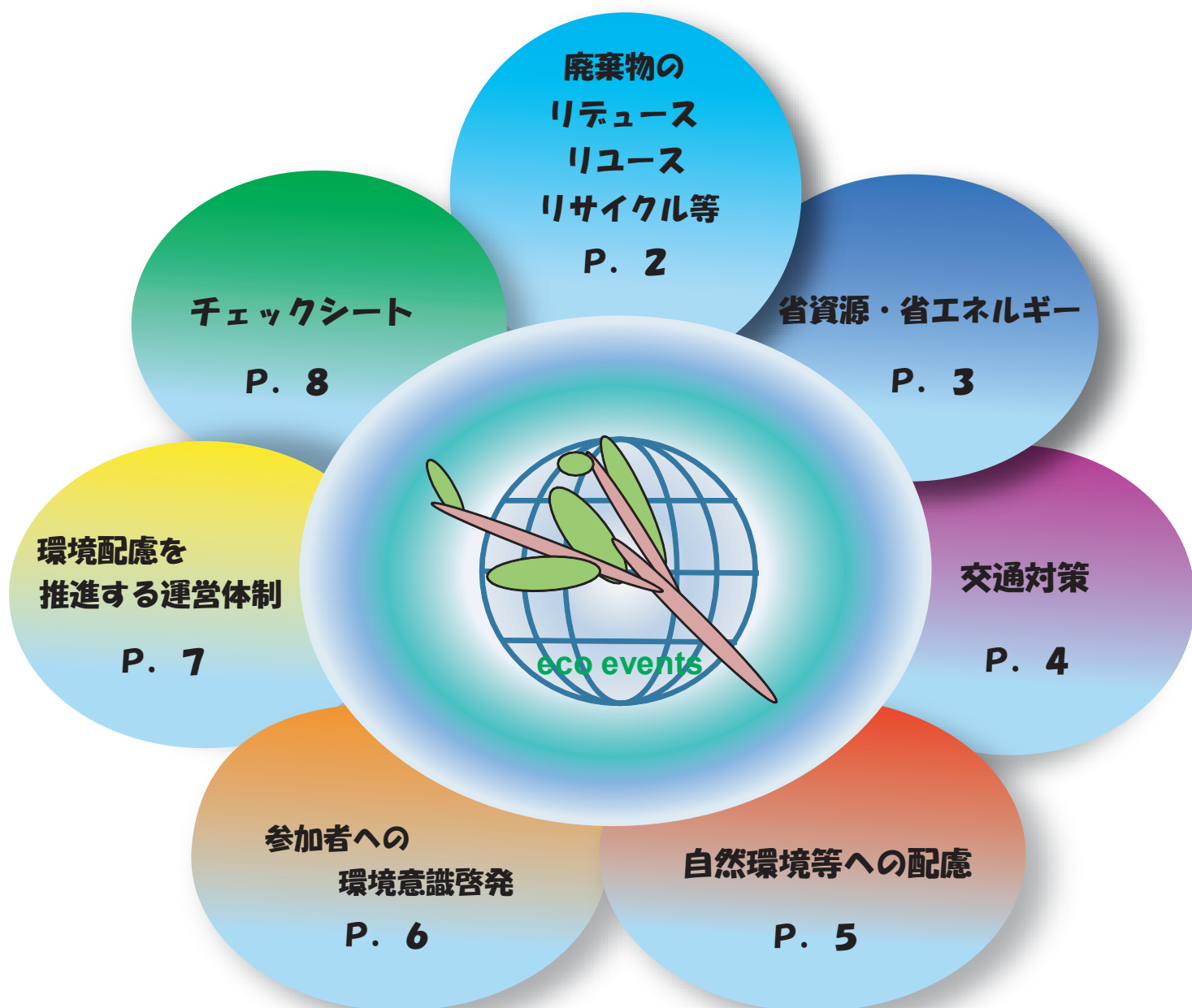


# エコイベントマニュアル

－できるところからはじめましょう－



平成21年10月

山口県

## 1 エコイベントの目的

多くの人が集まるイベントでは、大量の廃棄物が発生したり、たくさんのエネルギーや資源が消費されるなど、環境への負荷が大きくなるので、環境への負荷をできるだけ少なくするように配慮した「エコイベント」の取組が重要です。

また、こうしたイベントの開催は、参加者への環境意識の啓発を行う良い機会ともなります。

県では、ゼロエミッション型として開催した「山口きらら博」の成果を継承し、「環境配慮型イベント（エコイベント）開催指針」を定め、県が主催するイベント等において、環境に配慮したエコイベントの取組に率先して努めているところですが、県以外のイベントにおいても、このエコイベントの取組を積極的に推進していただけるよう、市町や民間向けのエコイベントマニュアルを策定しました。

今後、県内で実施される種々のイベントにおいてこのマニュアルを活用していただき、主催者や出展者など関係者はもちろん、参加者にも環境配慮の実践を促し、環境に配慮したエコイベントの取組が広く定着することを目指します。

## 2 エコイベントマニュアルの活用

このマニュアルでは、多くの人に参加する各種大会、祭り、式典、講演会等の各種イベントを対象としています。

イベントの企画・開催に当たっては、このマニュアルに示したエコイベントの取組内容を活用し、イベント自体の開催目的を損なうことなく、それぞれのイベントに応じてできることから無理なく柔軟に取り組み、各イベント主催者の創意工夫によって、環境に配慮したイベントを目指すとともに、環境配慮型イベントに関するノウハウの定着を図ります。

また、必要に応じ、付属のチェックシートを活用し次回以降のイベントの改善に役立てます。

### 3 エコイベントの取組内容

#### (1) 廃棄物のリデュース・リユース・リサイクル等

イベントでは、多くの人が集まり、多量の廃棄物が発生する可能性があります。イベントの開催に当たっては、次の「3Rの考え方」に基づいて、廃棄物の発生を抑制するとともに、やむを得ず発生した場合は適正に処理します。

##### 【基本的事項】

###### <3Rの考え方>

###### ・ Reduce (リデュース) 発生抑制

- チラシや資料等は必要部数を考慮して無駄のないように用意します。
- 物品販売等では、簡易包装に取り組みます。
- 参加者等にごみの持ち帰りの協力を求めます。(その場合、ごみ箱は設置しません。)
- スタッフ等の食事は、弁当納入業者回収方式等によりごみが発生しない方式を採用します。

###### ・ Reuse (リユース) 再使用

- 機材や看板・展示パネル等は、既存のものやレンタル品など繰り返し使用できるものを使用します。

###### ・ Recycle (リサイクル) 再生利用

- 開催市町のごみの分別基準を確認し、分別区分に応じたリサイクルボックスを設置するとともに、参加者にごみの分別等の協力を求めます。

###### ・ 適正処理

- 再生利用できない廃棄物は適正に処理します。



##### 【ステップアップ】

- 使い捨て容器の使用を改め、デポジット制度※<sup>1</sup>等によるリユース食器の利用に取り組みます。
- マイバッグ、マイ箸、マイ食器等の持参を呼びかけます。
- 食品廃棄物の堆肥化やイベント資材の再生利用等に取り組みます。



※1 デポジット制度とは、商品に一定額(預かり金)を上乗せし、容器返却時に店頭で預かり金を返却することで、容器回収率の向上を図るシステムをいいます。

## (2) 省資源・省エネルギー

イベントでは多くの資源やエネルギーが使用されます。イベントの開催に当たっては、資源やエネルギーを無駄遣いせず、有効に活用します。

### 【基本的事項】

- 照明や空調等の使用を控えめにします。  
(室温は、冷房28℃、暖房20℃を目安にします。)
- チラシなどの作成はなるべく両面印刷とし、紙使用量を抑えるよう努めます。
- 物品の購入に当たっては、環境に配慮された商品(エコマーク※<sup>1</sup>、グリーンマーク※<sup>2</sup>商品等)の購入に努めます。



### 【ステップアップ】

- 古紙パルプ配合率の高い再生紙※<sup>3</sup>を利用します。
- 資材・物品等は、できるだけ地元で生産された農産品や地場製品を調達します。

※1 生産から廃棄に至るライフサイクル全体を通して環境に負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品に表示されています。  
(例：フロンガスを使用していないスプレー)



エコマーク

※2 古紙を一定割合以上使用している製品に表示されています。  
(例：古紙を100%使用しているトイレトペーパー)



グリーンマーク

※3 再生紙には古紙パルプ配合割合によりR100やR75等があり、使用する用紙に応じたマークを表示することができます。



<参考> 環境省「環境ラベル等データベース」

(<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/f01.html>)

### (3) 交通対策

自動車の利用は、排出ガスによる大気汚染や地球温暖化の要因となるとともに、交通渋滞はエネルギーの無駄遣いにもつながります。イベントの開催に当たっては、交通による環境負荷を削減するための取組を行います。

#### 【基本的事項】

- 来場者に、徒歩・自転車・公共交通機関など環境への負荷の少ない交通手段での来場を呼びかけます。
- 開催案内などに公共交通機関の利用方法、会場へのルート図や所要時間を掲載するなどの情報提供に努めます。
- マイカーでの来場者には、相乗りやエコドライブ<sup>※1</sup>の励行を呼びかけます。



#### 【ステップアップ】

- シャトルバスやパーク&ライド方式<sup>※2</sup>等による運行を計画し準備します。
- アイドリングストップの徹底のため、駐車場での看板の設置やスタッフの巡回を行います。（必要に応じてバス乗務員等の待機場所を確保します。）

※1 エコドライブとは、やさしいアクセル操作でゆっくり発進したり、駐停車時にアイドリングストップを行ったり、エアコンの使用を控えめにしたりして二酸化炭素の排出を抑える環境にやさしい運転をいいます。

<参考> 環境省「エコドライブ10のすすめ」

(<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ecodriver/point/>)



- 1 自分の燃費を把握しよう
- 2 ふんわりアクセル「eスタート」
- 3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- 4 減速時は早めにアクセルを離そう
- 5 エアコンの使用は適切に
- 6 ムダなアイドリングはやめよう
- 7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- 8 タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 9 不要な荷物はおろそう
- 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

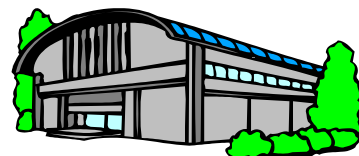
※2 パーク&ライド方式とは、最寄りの駅・停留所まで車を使い、駐車場に駐車し、電車やバスに乗り換えて会場に到着するシステムをいいます。

#### (4) 自然環境等への配慮

イベントの開催に当たっては、周辺の自然環境等に配慮した計画を立て、実施します。

##### 【基本的事項】

- 会場の設営・撤去は、騒音等による周辺の生活環境に影響がないよう配慮します。
- 生態系や景観等に配慮し、できるだけ自然環境に手を加えないような会場設営を心がけます。



##### 【ステップアップ】

- 事前に会場周辺の自然環境や生態系について調べます。
- 自然環境に手を加えた場合は、原状回復に努めます。



## (5) 参加者への環境意識啓発

イベントには多くの人に参加し、参加者の環境保全に対する理解や実践活動を促進する良い機会になります。環境に配慮したイベントの開催を通して、参加者の環境保全に向けた意識啓発を図ります。

### 【基本的事項】

- 環境に配慮したイベントであることをわかりやすく積極的にPRします。
- 環境配慮の取組内容を参加者にわかりやすく伝えます。

ECO!

### 【ステップアップ】

- 参加者自らが環境への配慮を体験できるようにします。
- ボランティア団体等と連携し、参加者が環境について学ぶ機会を提供します。
- パンフレット等の活用により、「緑のカーテン」の設置など環境保全に関する情報の提供に努め、参加者の自主的な取組を促します。



## (6) 環境配慮を推進する運営体制



イベントの実施に当たっては、運営体制を整備し、環境配慮の重要性について関係者全員の理解を得ながら取組を進めます。

### 【基本的事項】

- スタッフの中から環境配慮の企画・実施専任者を決めます。
- 環境配慮への取組みに関する計画書を作成し、企画会議において十分検討します。
- 環境配慮に関する取組内容を関係者全員（スタッフ、ボランティア、出店者等）に周知し、実施の徹底を図ります。

### 【ステップアップ】

- 専門業者からの企画提案には、このマニュアルに示した事項のほか、積極的に独自の環境配慮に関する企画項目を盛り込んでもらうよう要請します。
- 会場設営やイベント運営を業者委託する場合は、委託仕様書に実施する環境配慮に関する内容を盛り込み、実施の徹底を図ります。
- 参加者、出店者等にアンケートを行うなど、実施した環境配慮に関する意見の収集に努め、結果を次回のイベントの運営に役立てます。






## 環境配慮チェックシート(1/3)





イベント名: \_\_\_\_\_ 開催年月日: \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日( )~\_\_\_\_月\_\_\_\_日( )  
(ブース)

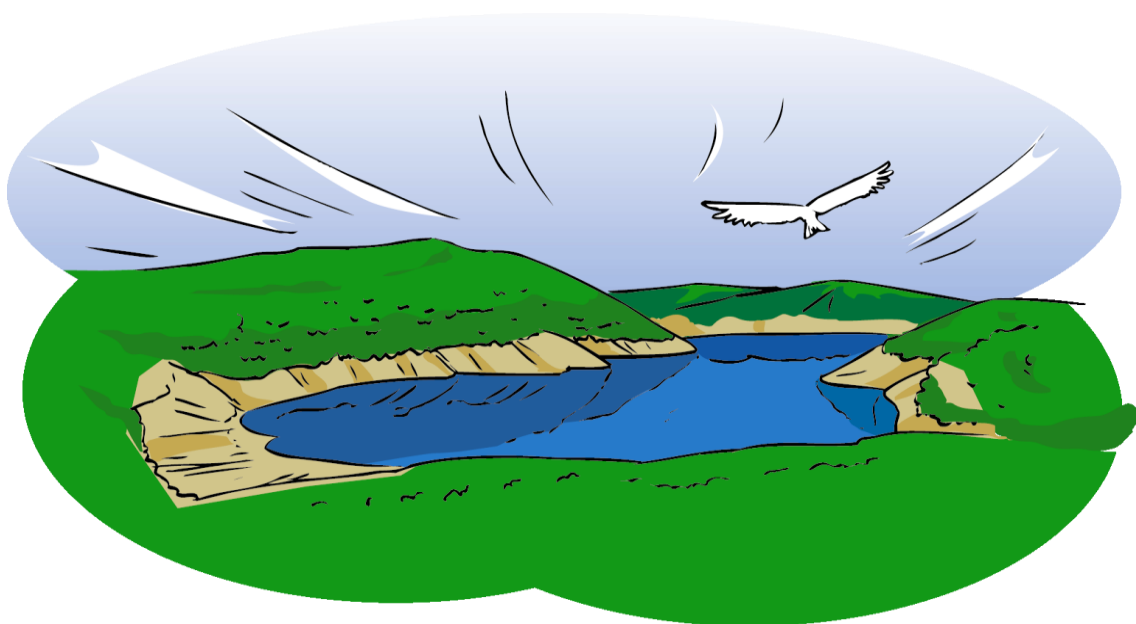
環境配慮責任者: \_\_\_\_\_

[記入方法] チェック欄に、実施する又は実施した項目(O)、該当しない項目(／)を記入してください。





項目	環境配慮事項	チェック欄			
		計画	結果		
(1) 廃棄物のリデュース・リユース・リサイクル等	基本的取組 	発生抑制 (リデュース)	① チラシや資料等は必要部数を考慮して無駄のないように用意します。		
			② 物品販売等では、簡易包装に取り組みます。		
			③ 参加者等にごみの持ち帰りの協力を求めます。(その場合、ごみ箱は設置しません。)		
			④ スタッフ等の食事は、弁当納入業者回収方式等によりごみが発生しない方式を採用します。		
		再使用 (リユース)	① 機材や看板・展示パネル等は、既存のものやレンタル品など繰り返し使用できるものを使用します。		
		再生利用 (リサイクル)	① 開催市町のごみの分別基準を確認し、分別区分に応じたりサイクルボックスを設置するとともに、参加者にごみの分別等の協力を求めます。		
		適正処理	① 再生利用できない廃棄物は適正に処理します。		
		ステップアップ 	① 使い捨て容器の使用を改め、デポジット制度等によるリユース食器の利用に取り組みます。		
			② マイバッグ、マイ箸、マイ食器等の利用を呼びかけます。		
			③ 食品廃棄物の堆肥化やイベント資材の再生利用等に取り組みます。		
(2) 省資源・省エネルギー	基本的取組 		① 照明や空調等の使用を控えめにします。(室温は、冷房28℃、暖房20℃を目安にします。)		
			② チラシなどの作成はなるべく両面印刷とし、紙使用量を抑えるよう努めます。		
			③ 物品の購入に当たっては、環境に配慮された商品(エコマーク、グリーンマーク商品等)の購入に努めます。		
	ステップアップ 		① 古紙パルプ配合率の高い再生紙を利用します。		
			② 資材・物品等は、できるだけ地元で生産された農産品や地場製品を調達します。		

環境配慮チェックシート(2/3)

項目		環境配慮事項	チェック欄	
			計画	結果
(3) 交通対策	基本的取組 	① 来場者に、徒歩・自転車・公共交通機関など環境への負荷の少ない交通手段での来場を呼びかけます。		
		② 開催案内などに公共交通機関の利用方法、会場へのルート図や所要時間を掲載するなどの情報提供に努めます。		
		③ マイカーでの来場者には、相乗りやエコドライブの励行を呼びかけます。		
	ステップアップ 	① シャトルバスやパーク&ライド方式等による運行を計画し準備します。		
		② アイドリングストップの徹底のため、駐車場での看板の設置やスタッフの巡回を行います。(必要に応じてバス乗務員等の待機場所を確保します。)		
(4) 自然環境への配慮	基本的取組 	① 会場の設営・撤去は、騒音等による周辺の生活環境に影響がないよう配慮します。		
		② 生態系や景観等に配慮し、できるだけ自然環境に手を加えないような会場設営を心がけます。		
	ステップアップ 	① 事前に会場周辺の自然環境や生態系について調べます。		
		② 自然環境に手を加えた場合は、原状回復に努めます。		



環境配慮チェックシート(3/3)

項目		環境配慮事項	チェック欄	
			計画	結果
(5) 参加者への環境意識啓発	<b>基本的取組</b> 	① 環境に配慮したイベントであることをわかりやすく積極的にPRします。		
		② 環境配慮の取組内容を参加者にわかりやすく伝えます。		
	<b>ステップアップ</b> 	① 参加者自らが環境への配慮を体験できるようにします。		
		② ボランティア団体等と連携し、参加者が環境について学ぶ機会を提供します。		
		③ パンフレット等の活用により、「緑のカーテン」の設置など環境保全に関する情報の提供に努め、参加者の自主的な取組を促します。		
(6) 環境配慮を推進する運営体制	<b>基本的取組</b> 	① スタッフの中から環境配慮の企画・実施専任者を決めます。		
		② 環境配慮への取組に関する計画書を作成し、企画会議において十分検討します。		
		③ 環境配慮に関する取組内容を関係者全員(スタッフ、ボランティア、出店者等)に周知し、実施の徹底を図ります。		
	<b>ステップアップ</b> 	① 専門業者からの企画提案には、このマニュアルに示した事項のほか、積極的に独自の環境配慮に関する企画項目を盛り込んでもらうよう要請します。		
		② 会場設営やイベント運営を業者委託する場合は、委託仕様書に実施する環境配慮に関する内容を盛り込み、実施の徹底を図ります。		
		③ 参加者、出店者等にアンケートを行うなど、実施した環境配慮に関する意見の収集に努め、結果を次回のイベントの運営に役立てます。		

<b>自由記入欄</b> (その他の取組、反省点など) 	
---	--

山口県 環境生活部 環境政策課

〒753-8501 山口市滝町1-1

Tel. 083-933-3030 FAX. 083-933-3049